



清水会長（前列左から2人目）と受賞者による記念撮影

日測協

産業界のリーダーに

公共測量品質管理優秀者を表彰

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は24日、東

京都文京区の東京ドームホテルで公共測量品質管理優秀賞受賞者に対する表彰式を開いた。同賞は測量成果の検定（基準点測量、地図作成）で品質管理が特に優れていた測量会社に贈られる。表彰式の開催は3年ぶり。22年度は35社が受賞し、このうちつくばの測量技術センターと関東支部技術センターで検定した9社を表彰した。受賞企業の代表者に清水会長が表彰状を手渡した。

式典の冒頭、清水会長は

「この賞は公共工事品質確保促進法（公共工事品質確保法）が制定されたのを機に創設された。2019年の法改正で品確法の対象に測量が明記された」と同賞の創設経緯などを説明。19年施行の改正公共工事品質確保法を踏まえ「公共測量の重要性が広く、強く再認識されている。受賞を機にますます業務に精励してもらい、産業界のリーダーとして測量の発展に貢献してもらいたい」と述べた。

21年度に測量成果の検定を受検した会社は基準点測量が1333社、地図作成が310社。このうち基準点27社、地図8社の計35社が選ばれた。